



公益社団法人
東京都看護協会
TOKYO NURSING ASSOCIATION

<https://www.tna.or.jp>



Nursing

in TOKYO

会報「看護とうきょう」

Vol. **134**

2022.March



<座談会>

特集
1

国際的大規模イベントにおける 看護職の役割

特集
2

新型コロナウイルス流行下における 東京都内看護のメンタルヘルス実態調査

ごあいさつ	3
特集1＜座談会＞ 国際的大規模イベントにおける看護職の役割	4
令和4年度(2022年)教育部事業について	6
第19回看護フェスタ オンライン開催／都民健康講座	8
子育て支援委員会活動報告／訪問看護	9
危機管理室活動報告	10
特集2 新型コロナウイルス流行下における東京都内看護職のメンタルヘルス実態調査 ..	11
地区支部だより	12
保助看のページ	18
メディアセンターだより	20
東京都ナースプラザだより	21
会員係からお知らせ	22
表紙の紹介	23
公益社団法人 東京都看護協会 役員等の選挙について	23
事務局からのお知らせ	24

※「看護とうきょう」は協会ウェブサイトにも掲載しています。

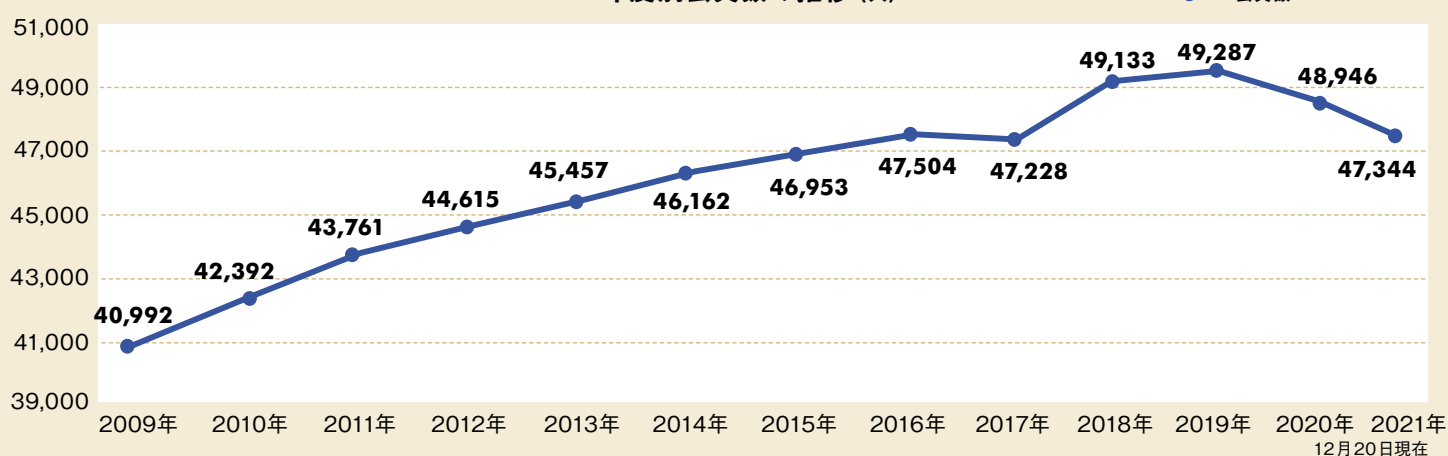
2021年度東京都看護協会会員数 **47,344名** (2021年12月20日現在)

	保健師		助産師		看護師		准看護師		計
	女	男	女	男	女	男	女	男	
就業者数	3,931名		4,088名		109,517名		12,565名		130,101名
会員数	431名	20名	2,235名	0名	40,878名	3,277名	447名	56名	47,344名
入会率	11.5%		54.7%		40.3%		4.0%		36.4%

就業数は平成28年12月31日現在の「東京都における看護師等業務従事者届集計報告」による

東京都看護協会会員数の年度別推移

年度別会員数の推移(人)



公益社団法人 東京都看護協会 会長 やまもと けい こ 山元 恵子



会員の皆様には日頃より当協会の活動にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。

令和3年（2021）年度は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による危機管理体制が試された1年でした。看護職の処遇改善の訴えなどを厚生労働大臣、東京都知事、新宿区長に直接説明することができました。さらに東京都医師会、東京都歯科医師会等とがっちりと職域ワクチンで連携を組み、さまざまな成果を挙げることができました。当協会提案の潜在看護職の就業定着奨励金「看護職員再就業支援事業」は、『ナースバンクに登録、研修に参加後、再就業して一定期間従事することで就業後6カ月で5万円、2年で15万円』の東京都からの支給

が実現します。

また令和4年2月から看護職のベースアップについても1～3%を目途に実現する予定です。そのため財源は4月からの診療報酬改定に盛り込まれました。これらはすべてCOVID-19に対する看護職の活躍とその役割の重要性が社会的に認められたからです。

これからも都内で働く13万人と潜在看護職が力を合わせ協力し、国難COVID-19を乗り越え、新しい看護を未来に向けて発展させ、一人でも多くの看護職が東京都看護協会員で良かったと思っていただけのような活動を展開して参ります。引き続きご支援のほど、よろしくお願いいたします。

専務理事 わたなべ ち か こ 渡邊 千香子



新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が続く中、それぞれの場で懸命に闘っている会員の皆様をはじめとする、すべての看護職の皆様へ改めて感謝申し上げます。

令和3年度は事業方針の第一にある「COVID-19の拡大蔓延と対峙する看護職を支援する」ための事業を最優先して実施してきました。他の研修事業や、東京都受託事業も開催方法など工夫しながら行ってきました。感染状況が落ち着きほったしたの

もつかの間、令和4年寅年の幕開けはオミクロン株の急拡大となり、令和4年度事業方針（案）も「COVID-19の拡大蔓延と対峙する看護職を支援する」ことを第一の方針として挙げました。

感染対策の底上げを図るための様々な研修、都内・都外への派遣支援、重症化予防のため多団体と協力してワクチン接種を推進するなど、これまで同様協会職員一丸となって取り組んでまいります。一緒に乗り越えて行きましょう。

常務理事（教育部担当） おおはし すみ え 大橋 純江



令和3年COVID-19による4度目の緊急事態宣言下、1年遅れで“東京2020”が開催され、東京都をはじめ全国の看護職が開催を支えたことは改めて職能としての使命と活動のエネルギーを感じました。COVID-19との共存は看護職にとって脅威でもあります。働き方も含めて今までの概念にとらわれない斬新な思考で日頃の課題を解決するチャンスにもなり得ると考えます。

令和3年度第55回看護研究学会では50を超

える演題が寄せられました。苦境の中でも、研究活動を継続する意欲を失わない強さを感じました。教育部が提供する認定看護管理者教育や実務実践研修を、看護実践の場で積極的なアイデアの発信や行動に取り組むエネルギー源として是非ご活用ください。「為せば成る 為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬ成りけり」は米沢藩主上杉鷹山の言葉ですが、失敗を恐れずチャンスに変える力を蓄える年にしたいものです。

常務理事（事業部担当） さがわ きよみ 佐川 きよみ



令和3年度事業部では、新型コロナウイルス感染症対策として、都保健所支援のためのトレーサー研修を継続しながら、新たに新型コロナワクチンに関する研修会の開催、新型コロナ陽性者に対する相談対応等の保健所への協力、看護職の情報交換会等を行ってきました。

一方、都民の健康のための子育て支援事業や看護フェスティバル、東京都から受託を受けている新人看護職員責任者研修や入退院連携強化研修、訪問看護人材確保事業等につきましてはWeb開催とし、

感染拡大の中でもより多くの方が参加できるように実施してきました。

令和4年度は、看護の職能団体として、医療機関・公衆衛生・地域で活躍される看護職の方々への研修会をさらに充実させ、情報提供に努めてまいります。

また、東京都看護協会立訪問看護ステーションの機能強化につきましても進めてまいります。

皆様のご協力をいただきますようお願いいたします。

「国際的大規模イベントにおける看護職

東京都看護協会では、災害支援や東京マラソン、国際イベント会場など国籍を問わず多くの人が集まる場での医療・救護体制支援を実施しています。看護職が医療スタッフとして参加できるよう、関係機関との連絡調整や折衝業務をはじめ、現場実務も担っています。

2021年に開催された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会においても、多くの看護職がボランティアとして参加しました。今回は、実際にボランティアに参加した職員を中心に、活動を通して感じたことや、今後の協会の取り組みについて意見を交わしました。

大規模な国際大会で感じた看護の力

家崎：まずは東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、東京2020大会）と東京都看護協会の関わりについて、山元会長からお話いただけますか。

山元：コロナ禍、それも感染者数が増え続けている中での開催でしたので、現在就業中の看護職ではなく、休職者や“潜在看護師”と呼ばれる方々を対象にボランティアを募りました。協会職員は役員も含めて全員参加という形にしたのですが、多くの皆さんが前向きに「やります！」と申し出てくださったことがとても心強かったです。私自身も、体操などの競技場の医務室でボランティアとして参加しました。



山元恵子会長

家崎：把握している限りでは、東京都看護協会を介して25名の方がボランティアに参加してくださいました。皆さんも参加してみて、感じたことやエピソードなどをお話いただけますか。

上原：私は報道センター医務室の夜勤シフトと選手村総合診療所に入りました。こうした国際大会にスタッフという立場で参加したのは初めてです。メディアなどで見える華やかな面は一部分であり、この大会を成功させるために裏方の人たちがどれだけ苦労しているのかを知り、それを体験できたことは嬉しかったです。現場で出会った看護職の皆さんはとても前向きで、英語が話せなくても物怖じしない方も多く、私自身もモチベーションが上がりました。

ただ、文化の違いと言いますか、一部の外国人の方にはマスクや手指消毒などの感染対策の大切さが伝わりにくいこともあって、こうした現場をうまく回すマネジメントスキルの必要性を感じました。

ただ、文化の違いと言いますか、一部の外国人の方にはマスクや手指消毒などの感染対策の大切さが伝わりにくいこともあって、こうした現場をうまく回すマネジメントスキルの必要性を感じました。

栗原：私も選手村の診療所で、整形外科や泌尿器科、アスリート科などいろいろな科で活動しました。はじめは英語での会話に自信がなく不安がありましたが、オープンマインドに行動することで一生に一度しかない経験ができたと感じています。パラリンピックでは障害のある方に対し、医師・看護職が丁寧に関わる姿を見て、改めて医療や看護の素晴らしさを実感しました。

大橋：4日間に渡るボランティア参加を通して、オリンピック・

パラリンピックを準備されている方々や現場の苦勞を知ることができたのも良い経験になりました。

もっとも大きな課題は、感染予防対策をはじめとするコロナ対応

鴨田：私は選手村総合診療所の看護を担当しました。人手が足りず、急遽新たにボランティアを募集するなど、コロナ禍における大変さも味わいましたが、現場で出会った看護職がチームを作り、情報共有し合う素晴らしさも体験しました。看護職に限らずどの職種スタッフも常に冷静に対応していて、例えば相手の要望に応えるのが難しいときも「これはできない」と断るのではなく、できる方法を一緒に探っている姿が印象に残っています。



事業部 鴨田玲子

大橋：選手の皆さんが気持ちよく診察を受けることができるよう、医師の方たちとのコミュニケーションにもかなり気を配っていたと思います。

堀：看護職の皆さんの動きが本場に素晴らしかったですね。管理職経験者の方がいらっしゃったことが大きかったですし、一人ひとりがジェネラリストとして育てられていて、素晴らしいスキルを持っているんだと思いました。

家崎：安井さんは3年10カ月にわたって大会組織委で活動されていたわけですが、大会を開催するための難しさを感じたことはありましたか。

安井：今回、非常に難しかったのは、世界で一番大きなイベントであるオリンピック・パラリンピックに、未知の感染症である新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大が重なったことです。開催するかどうかも含めて、イベントのマネジメントをするのは、医療の現場とはまた違う大変さがあると感じていました。準備もかなり切羽詰まっていた、このままでは現場は回らないのではないかと感じていましたが、実際に開催した

ところ、本部へ報告されるのはよほど特殊なケースだけだったことに驚きました。それは、現場の皆さんが日々、「今日、この場でどうやって収めるか」とジェネラリ



大会組織委員会 安井はるみ氏

の役割」について

＜参加者＞山元恵子会長、渡邊千香子専務、大橋純江常務、栗原良子（教育部長補佐）、上原さゆり（危機管理室）、鴨田玲子（事業部）

＜司 会＞家崎芳恵事業部長

＜オブザーバー＞

大会組織委員会 安井はるみ氏
感染症対策コンサルタント 堀成美氏



感染対策コンサルタント 堀成美氏

ストとしての力を発揮してくださっていたからです。総合的に、看護職のリーダーシップ能力の高さを実感しましたね。

堀：ボランティアへの参加がまるで悪いことのように捉えられたり、「何人辞退したのか教えてほしい」と問

い合わせがあったりと、報道の影響の大きさを感じました。良かったこととしては、今回の東京2020大会は外国人向け医療対応を体験するいい機会になったことだと思います。私のミッションの一つは、あの場所ととにかく感染対策を徹底すること、医療を守ることでしたが、正しい感染対策ができる看護職が参加したことで状況が大きく変わりました。今後も国際的なスポーツ大会は行われますから、こうした経験がきっと役に立つと思います。



渡邊千香子専務

せるトップリーダーであることを感じました。自分たちがやってきた日本の看護を、海外に輸出することができるんだ、という新しい可能性も感じています。

鴨田：地域防災に看護の力をどう活かすかということに対してとても興味があります。今回のボランティアに参加したことで、いろいろな場所から集まった、いわば「寄せ集め」の看護職であってもこれだけ高い能力を発揮できることがわかったので、今後はぜひ、協会内でも地域防災について力を入れていきたいです。

渡邊：当協会は安定的に公益事業を展開するため、入会を促進していますが、入会したメリットなど会員自身が伝えていっていただきたい。また今回の大会で活動したことで、グローバルな視点で仕事をするもののやりがいや、素晴らしいを発信するなどしてほしいと思っています。

堀：本当は、看護学生の方にインターンのようにボランティア活動へ参加してもらえたらいいなと思っていました。次の機会には、若い方たちにも挑戦してもらえると良いですね。

栗原：情報の発信は本当に大切です。ワーキングホリデー等での海外経験がある方や、看護学生の娘さんと親子で参加されている現職の方などと一緒に活動する機会があったのですが、こうした方たちが次に向けて活動しやすくなるような支援はできないでしょうか。より多くの看護職が、こうしたボランティア活動に参加しながら自分を磨き、経験を積める。そうすることで看護職の世界はもっと広がり、日本の看護の輸出も夢ではないと思います。



教育部長補佐 栗原良子

看護職の未来を切り拓くカギは、積極的な情報発信・受信

家崎：国際的な活動に参加してみて、改めて今後、東京都看護協会が取り組んでいきたいことなどはありますか？

大橋：東京2020大会の開催を契機に、東京都看護協会の「看護職のグローバル化を目指す」という取り組みがスタートしました。語学研修を始めたところ、1,000人以上の方が参加してくださったことから、海外へのスタディツアー等も開催しています。東アジアの代表として日本の看護を伝えてほしいと考えています。

山元：私の夢は、日本の看護職が外貨を得ることなんです。単にボランティア活動の一環として海外で活躍するのではなく、しっかりとした看護の技術を使って、きちんと報酬を得ること。まだまだ夢のような話ではありますが、東京2020大会での経験は活かされるはずだと考えています。



大橋純江常務

家崎：今回の東京2020大会が、グローバルな視点で一步前進するきっかけになればと思いますが、これからも看護職に是非取り組んでいただきたいことや、協会としてはどのような支援が必要かなどお聞かせください。

安井：今日の座談会を通して、改めて東京都看護協会は東京2020大会での経験値を生かし、看護職の国際的な視点を発展さ

家崎：皆さん、ありがとうございました。最後に会長からひと言お願いできますか。

山元：今回の東京2020大会を通して看護の素晴らしさや、何もない場所からでも作り上げていくことができる看護職の力を改めて実感しました。皆さんのお話を聞きながら、行動するだけで満足してはいけないと感じています。次代を担う看護職を育て、東京都看護協会に魅力を感じてもらうためにも、協会を通してさまざまな経験をした看護職がその後どんな場所で、どんな風に活躍しているか、責任を持って見守り、皆さんに伝えていく立場にあるのかなと思いました。皆さんのご意見を、今後の活動に活かしていきます。ありがとうございました。



家崎芳恵事業部長

令和4年度(2022年)教育部事業について

常務理事 おおはし すみえ
大橋 純江

定款事業4条の1【看護職の資質向上に関する事業】

令和4年度教育部研修計画(タブロイド版)を会員の皆様のお手元にお届けいたしました。

■実務実践研修(表1)

表1 実務実践能力の向上に関する研修の3つのカテゴリと研修目標

カテゴリ	研修目標
看護実践研修	看護職が自らの実践段階を対比させて学ぶべき研修を選択し、看護専門職に必要な看護実践能力の向上を目指す。
教育・指導研修	教育・指導を担う看護職を対象に、組織的役割遂行に必要な教育・指導能力を養う。
マネジメント研修	看護管理者を対象として、必要な論理的思考・コミュニケーション能力・リーダーシップ・創造力等の看護管理能力の向上を目指す。

今年度は97研修(看護実践研修54、教育・指導研修11、マネジメント研修32)を予定しています。新規研修(表2)を5研修企画いたしました。新規研修はタブロイド版上で **NEW!** を付けており、新規以外の研修も、実施評価を反映してテーマや内容をブラッシュアップしておりますので是非ご確認ください。

表2 令和4年度 **NEW**

カテゴリ	JNA ラダー	研修名	ねらい
看護実践	ケアする力II	ナースのための輸血の基本	安全な輸血を実施するための基礎知識の理解と、輸血実施時の注意点を学ぶ
教育・指導	—	With コロナ After コロナでの入職者の受け入れ一院内研修、現場の教育体制、環境づくりについて考える—	コロナが今後も続く中で、With コロナ、After コロナの現状を踏まえ、新たな教育や研修のあり方等を学ぶ
目標管理	—	基礎から学ぶ目標管理	「目標管理」の基礎知識から目標の立て方、目標達成するための仕事術について具体的に理解する
看護実践	意思決定を支える力II	最期の方を迎える患者・家族をどう支えるか?	看取りに必要な準備と知識を持ち、患者・家族が望む最期の方を支える
看護実践	ケアする力II	災害時の被災者家族への支援	今後起こりうる災害から被災者家族の支援を学ぶ

※令和4年度研修計画のタブロイド版は、以下 URL からダウンロードできます。
<https://www.tna.or.jp/nurse/education/training/plan/>



■認定看護管理者教育課程

今年度はファーストレベル2回、セカンドレベル、サードレベルを各1回開催いたします。

セカンドレベル、サードレベルは、各34日間と長期のため、期間を3ターム程度に分割して業務への影響を配慮して開催いたします。以下の表3が開催日程となります。ご応募の際、Webの登録と書面の郵送が必要ですので、募集要項をご確認の上ご応募ください。

表3 認定看護管理者教育課程の開催および実務実践研修のスケジュール

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
ファーストレベル	5/16-6/15						11/7～12/15			
セカンドレベル				8/29～11/2						
サードレベル		6/20～10/7								

e-ラーニングによる研修(マネジメントコース) ●6ヶ月間繰り返し学べます

土日も含めて研修参加の調整が困難な職場で勤務している等、なかなか学習する機会を確保できない方にお勧めです。新米からベテランマネジャーまで基本的なスキルとして必要なマネジメントの4コースをご提供いたします。コンテンツは(株)Net-learning社の「ネットラーニングコース」からマネジメントスキルをピックアップしました。6カ月間繰り返し学べるスタイルです。是非、お試しください。

Point 1

好きな時間に学習

Point 2

定額の料金

Point 3

実践しながら学習



※応募の詳細はウェブサイトをご確認ください。

令和3年度 公益社団法人東京都看護協会
第55回 **看護研究学会**
令和4年1月15日(土)
9:30~16:00
オンライン開催 **ライブ配信**
配信会場:東京都看護協会会館 1/18~1月31日までアーカイブ視聴可

危機的状況の経験から何を学び何を活かすか?
~COVID19からの学びと人材育成~

ビデオメッセージ
危機的状況の経験から未来志向の人材育成について
尾木 直樹(尾木ママ) 教育評論家/法政大学名誉教授

シンポジウム 問題志向から未来志向への人材育成
看護教員の立場「コロナ禍での学内教育の工夫と育成」
井上 智子 国立看護大学校 大学校長
看護管理者の立場「コロナ禍での看護実践者の育成」
~コロナ禍を経験した新採用者教育の工夫、看護師の人材育成~
浅香 えみ子 東京医科歯科大学付属病院 看護部長
教育者の立場「管理者に求められる未来志向の人材育成」
~危機的状況を経験して見えたもの~
島津 明人 慶應義塾大学総合政策学部 教授

参加費 会員 2,200円/非会員 3,300円/学生(含院生) 2,200円
1月18日~1月31日までアーカイブ配信(視聴可能)※
当日のスケジュールが合わなくても配信期間中は好きな時間に視聴できます。

お問い合わせ <https://www.tna.or.jp/>
お申し込み 電話 03-6300-5584 (研修課内学芸事務局)

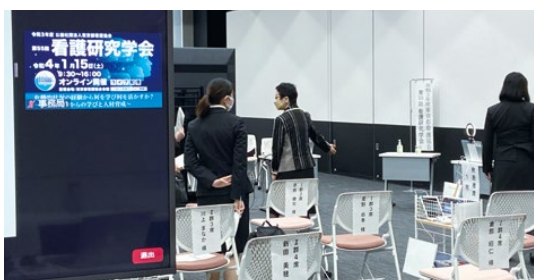
■令和3年度 第55回看護研究学会を開催しました。

令和2年度に引き続き、【Web LIVE 配信・オンデマンド配信】で実施し事前登録368名でした。

演題募集では70件を超える応募があり、口演16題、誌上発表32題という結果でした。

●開催日：2022年1月15日(土)

●オンデマンド配信期間：2022年1月18日~31日まで



▲口演発表の様子

奨励賞

国立病院機構東京医療センター
永田 花菜子 殿

あなたの研究発表は令和3年度
第55回東京都看護協会看護研究
学会において奨励賞に選ばれま
した
よって今後ますますの研鑽を
期待しここに表彰いたします

令和4年1月15日

公益社団法人 東京都看護協会
会長 山元 恵子



▲シンポジウムの様子

▲「奨励賞」受章者

第19回 看護フェスタ「看護の心をみんなの心に」

皆さん、Web開催での「第19回看護フェスタ」はいかがだったでしょうか？

令和3年12月1日から1か月間、看護職からのメッセージやコロナ禍で頑張っている医療関係団体の様々な活動等を配信いたしました。開催中4500回以上のアクセスがあり、じっくり視聴された方、何回かに分けて視聴された方、さまざまな形で「看護フェスタ」にご参加いただけたことと思います。

令和2年度からWeb開催となり、都民の皆様には医療の現場をわかりやすく伝えるために、普段は聴診器を持つ手をビデオカメラに変えて、動画制作や資料作成をし、ご提供くださいました医療関係団体の皆様にも感謝いたします。

12月12日に行われたWeb/Live講演会は、日曜日の日中にもかかわらず100名の方に参加していただきました。慶應義塾大学の藤澤大介先生による「コロナ禍におけるこころの健康」と大阪大学の忽那賢志先生による「新型コロナワクチンとコロナのこれから」は、まさにタイムリーな内容で、視聴された方の満足度は高く、有意義な時間となったのではないのでしょうか。

Web開催は時間や場所の制約なく自由に参加できる大きなメリットがあります。しかし、一方通行のメッセージの発信になり、一緒に考えたり、相談したり、体験するという点では物足りなさを感じてしまいます。

令和4年度は20回目の「看護フェスタ」となります。Withコロナで、発信、相談、体験できる「看護フェスタ」の開催を目指して準備を進めているところです。ご期待ください。そして、みんなで一緒に「看護の心をみんなの心に」届けましょう。

【第19回看護フェスタ 特設サイト】



事業部から

都民健康講座

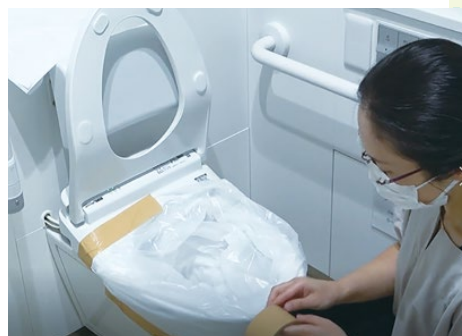
「健康づくり」と「暮らし方」を考える

都民の皆様と一緒に、様々な切り口から健康について学び、語り合うことで、ご自身や家族の「健康づくり」や「暮らし方」を考える講座を開催しています。

令和3年度は9月『災害への備え～トイレと食事の話～』、11月『自宅でできる！ヨガ講座』、1月『全身の健康はお口から！』と3講座を開講しました。新型コロナウイルスの感染拡大防止からWeb開催とし、「災害時のトイレはみんなでワイワイ作りたかった！」「家でゆっくり観て良かった」等、様々なご

意見をいただきました。

Web開催と会場での公開講座、それぞれの効果と満足感を考えながら次年度も地域の皆様と一緒に健康づくりを考える場を作りたいと思っています。



▲災害時のトイレ作り

次世代育成 ～健やかに生まれ育つための支援を～

子どもが健やかに生まれ育つために、命の大切さを伝え、初めての出産や子育てを当協会の子育て支援委員会を中心に都内の病院・産院の助産師、保健師、看護師が支援しています。

プレファミリー講座では子育て支援協力員を募集しています。皆さんも「子育て支援」の分野で活動をしてみませんか？

また、妊産婦・親子向けの新型コロナウイルス感染症対策動画とアニメーションも制作しました。親子で楽しみながら学んでもよし！子どもの感染対策指導に使ってもよし！英語版・中国語版もできましたので、是非ご活用ください。
(東京都看護協会 Web サイトに掲載中)



▲プレファミリー講座
パートナーが妊婦体験



▲出前講座
小学生が赤ちゃんのお世話体験

■プレファミリー講座

初めての出産を控えている妊婦さんとパートナーの方が、出産・育児の正しい知識を学ぶ講座

■すくすく広場

親子が健やかに成長するための講座や、子育ての悩みなどを相談できる子育てイベント

■出前授業

小・中・高校に出向き「出産・育児に関する知識」や「命の大切さ」などについて伝える取り組み

【お問い合わせ】 事業部 子育て支援担当 kosodate@tna.or.jp

事業部から

訪問看護

事業部から 訪問看護 ～ご自宅で安心して生活するために～

「最期は自宅で」「家族と一緒に時間を大切にしたい」という一人ひとりの思いを大切に、西に東に・北へ南へ自転車でご自宅へ向かいます。公園のさわやかな風や四季折々の姿、そして子どもたちの声は、次の訪問に向かう活力になっています。

「訪問看護のやりがい」については、「利用者が不安なく自宅で過ごす環境を調整し、その時間に立ち会えることです。」「日々、利用者の強さ、逞しさ、健気さ、温かさ、優しさに救われているのは自分のほうです。」といった声が訪問看護師たちから寄せられています。

東京都看護協会の訪問看護ステーションは、東京都訪問看護教育ステーションです。同行訪問や研修会、相談などを行っています。訪問看護を体験したい方はご連絡ください。



▲訪問看護写真

【教育ステーションお問い合わせ】

千駄木訪問看護ステーション城北事業所
〒179-0081 東京都練馬区北町8-37-22第5相原ビル202号室
電話：03-3931-2231 FAX：03-5922-7744
Mail: station@tna.or.jp

危機管理室活動報告

危機管理室 室長 仙道かほる^{せん どう}

飛沫体験VR

令和3年4月、VR空間において飛沫を可視化し、感染リスクを視覚的に理解すること、防護服の種類と着脱順についても、バーチャル体験しながら学習することを目的に、VRによる飛沫シミュレーションを作成いたしました。「鼻咽頭の検体採取」「口腔ケア」「気道吸引」等のケア×防護服の選択という内容です。実務実践研修や看護学生向けの出張研修に活用すべく計画をしていましたが、新型コロナウイルス感染症の第4波、第5波により、実際に体験していただく機会を設けることがなかなかできませんでした。感染状況がやや減少傾向にあった10月、介護・看護 EXPO（令和3年10月13日～15日）、11月の HOSPEX Japan2021（令和3年11月24日～26日）にて、来場された看護職やその他の方々により体験していただくことができました。

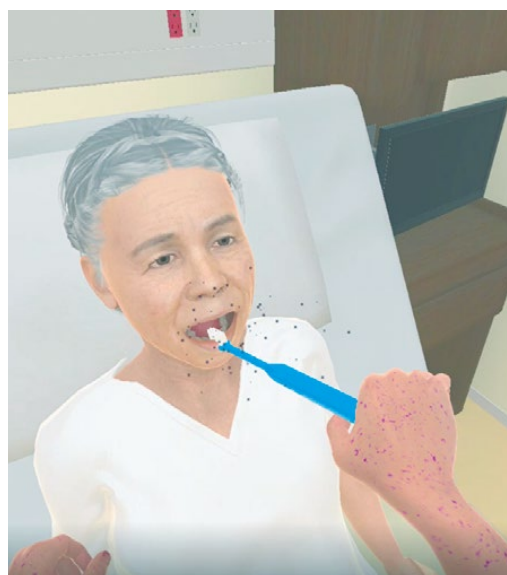
本来ならば、患者さんが咳をしても飛沫やエアロゾルを見ることはできないので、感染リスクに

ついては今一つピンとこない方がいるかもしれません。VRを体験された方は、患者さんの飛沫が自身の体に付着している様子を目の当たりにして、「うわあー、こんなに飛ぶんですねー」と驚いていました。皆さん、期待通りの反応をしてくれるので、私たちは『しめしめ』とばかり、医療従事者がいかに感染リスクの高い業務に従事しているのかということと、マスクやフェイスシールド等の防護具の効果について説明させていただきました。

オミクロン株による第6波の影響もあり、VRを体験していただく機会がなかなか設けられないのはもどかしいところではありますが、今後は看護学生の就業前の研修としての活用や、看護基礎教育のVRによるシミュレーション学習の一助となるように、活用していきたいと考えています。体験してみたい方は、危機管理室（mail：kikikanri@tna.or.jp）までご連絡ください。



ヘッドセットとコントローラーでVR空間へ



歯ブラシによる「しぶき」も可視化

新型コロナウイルス流行下における東京都内看護職のメンタルヘルス実態調査 －支援のあり方を検討するために－

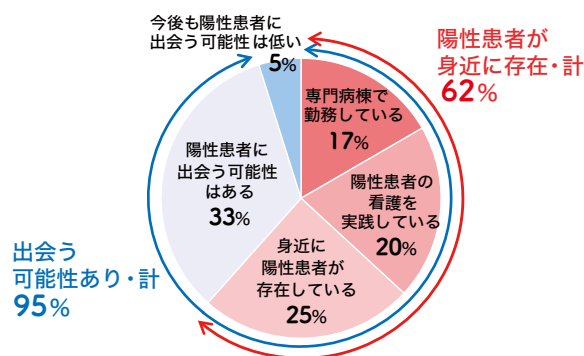
結果概要報告 研究代表者 和洋女子大学 准教授 寺岡征太郎
東京都看護協会新型コロナウイルス感染症対策プロジェクトメンタルサポートアドバイザー

東京都看護協会では、令和3年4月～5月に実施いたしました「新型コロナウイルス流行下における東京都内看護職のメンタルヘルス実態調査－支援のあり方を検討するために－」の調査結果をとりまとめましたのでご報告いたします。本調査は、流行初期から1年以上が経過し、ストレスフルな状況が長期化する中、改めて看護職のメンタルヘルス支援のあり方を検討するため、さまざまな状況・立場で働く看護職を対象に、メンタルヘルス支援に関する実態を調査しました。なお、調査後、第4波～第6波の状況を経て、看護職にかかる精神的負荷はさらに増加した可能性もあり、引き続き注視が必要な段階にあるといえます。

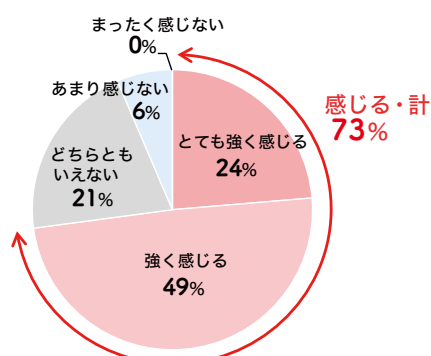
COVID-19患者の看護経験と働く場におけるストレス度

看護職の62%が身近に陽性患者が存在する環境で勤務。73%がストレスを抱えている。

COVID-19患者の看護経験 (n=841)

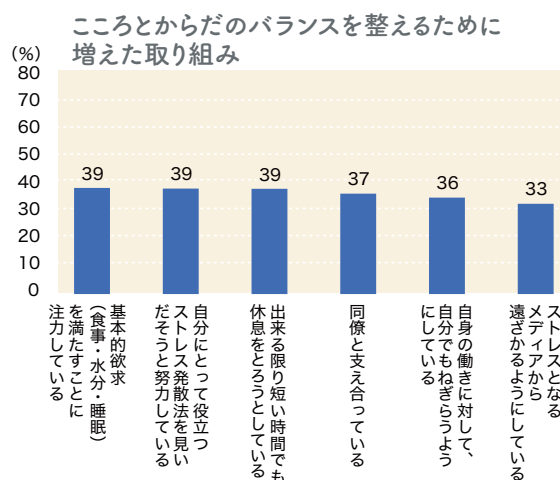
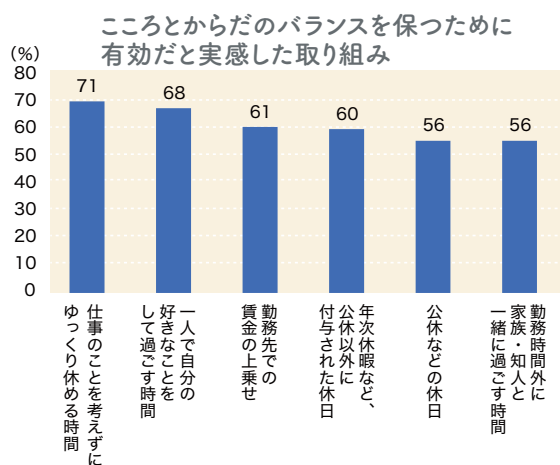


働く場におけるストレス度 (n=841)



こころとからだのバランスを整えるための取り組み

看護職の7割が「休息」の有効性を実感しているが、休息をとろうとしている人は約4割にとどまる。



調査概要 調査対象：東京都内の医療・福祉施設に勤務する看護職 有効回答数：841名
調査時期：2021年4月8日（木）～5月10日（月）
調査方法：インターネットリサーチ

〈メンタルヘルス支援に関する実態〉 調査では、上記以外にも次のようなメンタルヘルス支援に関する実態が明らかになりました。

- ・人員不足の厳しい労働環境の中で、看護職の73%がストレスを抱えている。
- ・COVID-19陽性患者に対応している専門病棟だけでなく、一般病棟で働く看護職の労働環境も悪化している。陽性患者の看護経験の有無に関係なく、看護職全体が高いストレスを抱えている。
- ・近隣からの風評被害や、子どもの保育園での差別的扱いなど、職場以外の中傷や差別的扱いも看護職の大きなストレスとなっている。
- ・COVID-19陽性患者に対応している専門病棟で働く看護職が、一般病棟で働く看護職から心無い言葉をかけられるといったケースも報告されており、同じ施設内での看護職同士の軋轢もストレスの一因となっている。
- ・一方で、こころとからだのバランスを保つために多くの看護職が努力している様相も確認されたが、実際にメンタルヘルス支援を受けた経験があると回答した看護職は全体の3割に留まった。

これらを踏まえると、COVID-19流行下において多様なストレスを抱える看護職のこころとからだの健康を守るために、労働環境の改善を含めたサポートシステムの整備が喫緊の課題であるといえます。



一般病棟も含め、看護職全体が労働環境の悪化やストレスレベルの高い状況にあり、より積極的なメンタルサポートシステムの整備が必要

東京都看護協会は、6地区支部の連携のもと地域ニーズをとらえ、より地域に密着した協会活動を行っています。今回ご紹介する各地区支部の病院および施設では、様々な取り組みを実施し、コロナ禍においても地域の保健衛生や福祉の向上に寄与しています。

東部地区支部

東部地区支部 広報委員

矢内 涼子

社会福祉法人 仁生社 江戸川病院 コロナ禍における退院調整の取り組み

社会福祉法人 仁生社 江戸川病院 入退院支援室

松山 江里子



【病院概要】

社会福祉法人 仁生社 江戸川病院

〒133-0052 東京都江戸川区東小岩2-24-18

TEL.03-3673-1221

病床数 474床

コロナ禍における退院調整の取り組み

当院は、27の診療科目と474床のベッド数を保有し急性期病院として地域医療に貢献しています。令和3年4月より、各病棟へ1名ずつ計9名の退院支援専任看護師が配属されました。医療相談員7名と連携しながら、病棟専任看護師が在宅調整の実践を行っています。コロナによる面会制限が続く中、ご家族等への情報提供として、下記の様な工夫をしています。

①患者様の家族等が、洗濯物などの荷物を持参し来院された際に、病棟看護師は丁寧に入院中の様子をお伝える。

②承諾を得られた方は、タブレットや患者様の個人携帯を使用しLINE等のビデオ通話で、リハビリの様子などを見ていただき、状態や状況をイメージしやすいようにする。

入院当日には、病棟看護師が退院支援スクリーニングシートを用いてスクリーニングを行うことで、事前に退院支援専任看護師の介入が必要な患者様を抽出、早期に介入できるようになりました。

さらに在宅に関わるスタッフとの連絡や情報共有に関しても、よりスピーディーに行えるようになりました。

また、当院では医療処置を継続しながら在宅へ戻る患者様も多く、退院前の多職種カンファレンスは重要な情報共有や調整の場となります。そのため感染対策を実践しながら、令和3年度4月～11月の期間において、介護連携等指導は57件、退院時共同指導は39件、多機関共同指導は2件取得することができました。

このように常に顔の見える連携を心掛けています。

当院の理念である「みんなのしあわせとおもいやり」のもと、患者様やご家族に寄り添った入退院支援を今後も実践していきたいと思っています。



入退院支援スタッフ

荻窪病院

地域の安心をともに支える

医療法人財団荻窪病院 看護部 外来 師長

高村 総子



【病院概要】

医療法人財団荻窪病院

〒167-0035 東京都杉並区今川3丁目1番24号

TEL.03-3399-1101

病床数 252床

地域の安心をともに支える

杉並区西部の中核病院として、救急医療や紹介患者様の受け入れに尽力している急性期病院です。地域への安心安全な先進的医療の提供に取り組んでいます。2019年には、外来化学療法室とリハビリテーション室を拡大し、医療機能の充実を図ってきました。

新型コロナウイルス感染症への対応

敷地内にプレハブを7室設置し、近隣の医療機関、保健所からの紹介患者様の発熱外来、PCR スポットを開設しました。かかりつけ患者様の発熱対応にも利用しながら、医師、看護師だけでなく、多職種のコメディカルが感染予防策に習熟し、協働して対応をしています。

2021年5月より、杉並区の桃井原っぱ公園仮施設において、荻窪病院主導で1日500～900名の杉並区民ワクチン接

種業務にも取り組んでまいりました。2021年10月には、新型コロナウイルス感染症に対する中和抗体薬による治療（抗体カクテル療法）を発熱外来で行っています。また、病棟の一区画をゾーニングしてコロナ専用病棟とし、軽症から中等症の患者様の入院を受け入れております。看護師配置は、各病棟からスタッフを選出し、輪番制としています。病棟間の垣根を越え、看護チーム一丸となって対応しています。

看護師ユニフォーム

2021年9月より、上着を日勤勤務者「ロイヤルブルー」、夜勤勤務者は「バーガンディー」の2色制を導入しました。勤務時間を意識した働き方につながるよう期待しています。



COVID-19 病棟：軽症から中等症の入院



スクラブタイプのカラーユニホーム



桃井原っぱ公園：杉並区新型コロナウイルスワクチン接種会場

東京労災病院 多職種カンファレンスに注力

独立行政法人労働者健康安全機構 東京労災病院 外来 師長

岩塚 晶子



【病院概要】

独立行政法人労働者健康安全機構 東京労災病院

〒143-0013 東京都大田区大森南4-13-21

TEL. 03-3742-7301

病床数 400床

当院は大田区でも羽田空港に一番近い総合病院で、昭和24(1949)年に設立されました。独立行政法人労働者健康安全機構に所属する32病院の中で、70年以上の歴史を持つ老舗です。

「命の輝きを共有できる病院」という病院理念のもと、「地域医療」と「勤労者医療」を大きな柱としています。看護部は「信頼」をキーワードに心と心が通じ合う看護を目指しています。また、患者さんのくらしに密着した視点を大事に、地域連携の強化を図っています。

多職種カンファレンスに力を入れています

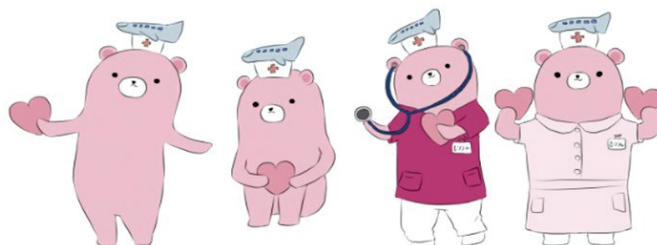
入院前から在宅医療まで患者さんが安心して医療が受けられるよう、院内外が多職種が連携して切れ目のない支援に努めています。入退院支援センターの看護師が担当病棟を受け持ち、入院前から積極的に退院調整を行っています。

週1回の多職種カンファレンスでは医師・看護師・MSW・セラピスト・薬剤師・管理栄養士などの多職種が参加し、専門的視点から患者さんのベストを追求しています。

感染対策を講じつつ教育はしっかりと！

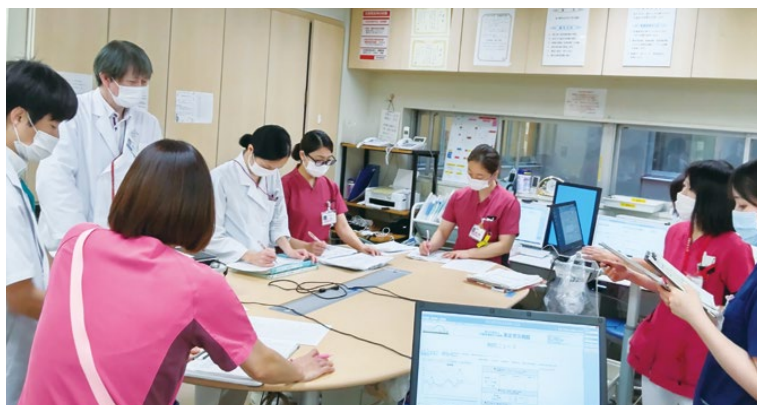
当院では、一人ひとりが自己のキャリア開発に主体的に取り組む、専門職業人として自己実現できるよう工夫を凝らした教育プログラムを整え支援しています。

令和2年のコロナ禍では、中止になることが多かった集合研修ですが、令和3年度はオンデマンド研修の活用や研修会場の分散など、3密対策を講じた上で、ほぼ例年通りのプログラムで研修を実施できました。これからも状況に合わせて柔軟に対応し、教育環境を更に充実させていきます。



もりりん

看護部イメージキャラクター「森ヶ崎のくまさん もりりん」です。「誰からも信頼され心温まる看護をめざす」という看護部の理念をもとに誕生しました。場を和ませてくれ、会話のきっかけを作ってくれる存在です。



多職種カンファレンス

糖尿病内分泌内科のカンファレンスです。各科で週に1回多職種カンファレンスを行います。



集合研修

感染対策を行いながら、看護について語り合いました。

日本大学病院 思いの先を、灯す。

日本大学病院 看護部 副看護部長 鈴木 幸代

【病院概要】

日本大学病院
〒101-8309 東京都千代田区神田駿河台1-6
TEL. 03-3293-1711 (代)
病床数 320床



当院は大正15（1926）年に開院された、320床の千代田区唯一の大学病院です。平成26（2014）年に新築移転し、名称も駿河台日本大学病院から日本大学病院へ変更しました。大学病院としては小規模のため、職種を問わず顔が見える関係で温かい雰囲気があります。

当看護部は、令和3（2021）年4月に看護部長が交代し、熊木春江看護部長のもと、新しく生まれ変わりました。現在当院は、コロナ禍、大学の諸問題等、窮地の状況にあります。しかし、そのような中『病院は患者のためにある』という病院の理念に立ち返り、看護部としてできることを考え実践していきたいと思っています。

看護部では、令和2（2020）年度からタグラインに『思いの先を、灯す。』を掲げています。新生看護部として、キャリア開発プログラムの改定、看護方式と看護記録の見直し等体制を検討しています。一人ひとりの看護部職員が看護の対象者への最善を考え、日本大学病院らしい看護を実現するために……。

少し、当院での特徴的な取り組みについてご紹介いたします。

タグライン：思いの先を、灯す。

ステートメント：看護の対象の生きるという思いや同志の願いを理解し、期待の一步先の価値を創造し共有することによって、相手の心を灯し温めたい。看護職としての誇りを持ち、自身の熱い思いを灯し理想像に向かって研鑽や鍛錬を惜しまず、自主創造することによって、より明るい未来を実現し、社会に貢献したい。

看護の象徴としてのランプを胸に――。

日本大学病院看護部は、この言葉が抱く思いを後世へつなげていきたいと思う。

つぶやきボックス

Google formを使用した無記名可能な投書制度を設けています。時に辛辣な意見もありますが、看護部職員の心の声に耳を傾け、風通しの良い職場、看護の質向上へとつながられるように取り組んでいます。

看護を語る会

実践から学び看護を創造できる看護師を育てるために、リフレクションを大切にしています。平成17（2005）年から『看護を語る会』を開催（コロナ禍で休止中）し、職位を超えて自分たちの看護を語る場を設けていました。現在では、研修の場でリフレクションする機会を取り入れています。今後は、管理者の看護を語る場を創っていきたく考えています。

『看護を語る会』語りより一部抜粋

「AEDの研修に出た時にある医師が、聴覚は最後まで残っていることがあるから、誰かがその人を助けようとしていることを伝えることが大切だと言っていました。それを聞いて、AEDという機械の操作だけでなく、操作の先には一人の人間がいるんだということを実感できました。」

COVID-19ワーキング

病院長が舵を取り、感染管理認定看護師および多職種の代表者でメンバー構成されており、令和2（2020）年2月17日に第1回目を開催してから令和3（2021）年12月16日には100回目を迎えました。コロナ禍におけるあらゆる問題に対してタイムリーに検討し、対策を練っています。

決定事項は、院内Webの他LINE WORKS（ラインワークス）を使用して配信され、全職員が周知できるようにしています。また、密を避けるために、会議や研修はグーグルクラスルームやZoom、ナーシングスキルを利用しています。



COVID-19に尽力した方々と部署への表彰状

武蔵村山病院

看護補助者の主体的活動の推進

社会医療法人財団大和会 武蔵村山病院 看護部 看護部長

ひうけ 日請 節子



【病院概要】

社会医療法人財団大和会 武蔵村山病院
〒208-0022 東京都武蔵村山市榎 1-1-5
TEL. 042-566-3111
病床数 300床

当院は東京都に唯一、鉄道駅のない市として有名な武蔵村山市にあります。

武蔵村山市の誘致を受けて平成 17 年に開院、一般病棟と療養病棟を併せ持つケアミックス型の病院です。

また、「地域に期待される病院」として、二次救急医療機関の指定を受け積極的に地域救急医療に参画しています。

「その人らしさを支える看護」をビジョンとする当院は、看護を提供する側にも視点を向け、「働きやすい職場づくり」を目指してきました。

「看護助手のリーダー制度」を導入

取り組みのひとつとして、看護助手が主体となり業務改善や提案ができるようしました。リーダー 1 名とサブリーダー

2 名を任命し、現在では、他部署へのリリーフ活動、ケアに関するセミナー参加と現場へのフィードバック、院内のレクリエーションやイベントの主催、看護助手採用イベントの企画・運営など、活躍の場は着々と広がっています。

また、独自の身だしなみケアの実施や、患者様ごとに必要なケアが一目でわかる表示の作成など、新たなケアの創造にも取り組んでいます。

看護補助者も「専門職」として チームの大切なメンバー

看護補助者も看護チームの一員として大きな役割を担っています。それぞれの職種が役割を認識し、主体的に関わることで、良質な看護の提供を実践していきたいと思っています。



お仕事セミナー



フローズン Day



夏祭り

榊原記念病院

『一人ひとりを大切にする温かい看護によりその人らしく生きることを支援する』チーム榊原の看護

公益財団法人 日本心臓血管研究振興会附属 榊原記念病院 副院長兼主任看護部長

池亀 俊美

【施設概要】

公益財団法人 日本心臓血管研究振興会附属 榊原記念病院

〒183-0003 東京都府中市朝日町3-16-1

TEL. 042-314-3111

病床数 307床



すべてのライフステージに循環器看護があります。

ここ榊原記念病院には、循環器疾患に関連した、胎児、母体からケアする周産期分野・小児分野、成人の循環器領域および関連領域の高度先進医療と看護を実践する看護師・助産師が約350人集まっています。

チーム榊原の看護は、最良の医療・看護を追求するプロフェッショナルリズムのもと、お互いを尊重し、思いやりのこころ、患者中心のケア、その人らしさに寄り添うこと、社会のニーズに対応できる価値ある変化を発信できることを大切にしています。

今回は、24時間365日救急患者を受け入れるための「モバイルCCU」、心臓病の人だからこそ、必要な「心臓リハビリテーション」をご紹介します。

モバイルCCU（心臓病専用救急車）

循環器専門病院として、当院では迅速で適切な循環器救急医療を提供できる体制を整えています。その一環として、令和1（2019）年より心臓病専用救急車「モバイルCCU（Mobile Coronary Unit Care Unit：移動式心臓集中治療施設）」を導入しました。

医師、看護師、臨床工学技士、事務スタッフがチームとなり、地域のクリニックで発症した急性冠症候群の患者のお迎え、補助循環装置を付けた患者の搬送などを担い、連携医療機関からの要請に迅速に対応しています。

心臓リハビリテーション室1
エアロバイク、自転車エルゴメータ、トレッドミル（歩行マシン）などを用いて、心リハをおこなっています。



心臓リハビリテーション室2

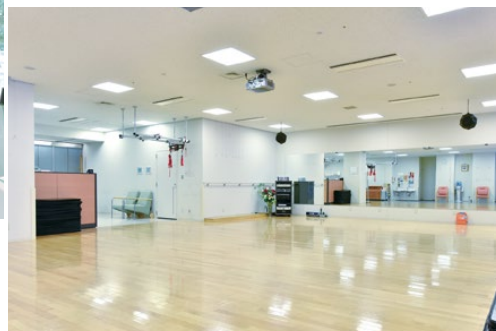
心臓リハビリテーション

心臓リハビリテーション（以下心リハ）は、術前の全身状態の評価からはじまり、術後早期からの外来でのリハビリテーションまで、年間1,300名ほどの患者さんへの包括的介入を、多職種で実施しています。

特に看護師は、医師、理学療法士、公認心理師と協働して、心リハプログラム前の問診・アセスメントからはじまり、生活指導・相談を実施しています。最近では、特に、厚生労働省のモデル事業「治療と仕事の両立プラン」に参画し、心臓病をもちながら、仕事に復帰される方の支援をチームで行っています。



モバイルCCU：医師、看護師、臨床工学技士、事務スタッフ、運転手のチームです。



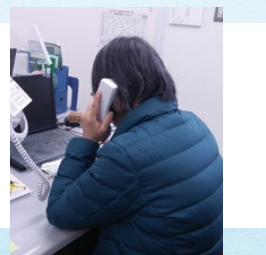
保助看のページ

コロナ禍に想うこと

保健師 COVID-19 雑感

荒川区保健所

村山 雅子



第6波で緊迫する現場

2022年1月現在、第6波で感染者が毎日過去最高を更新しています。新型コロナウイルス感染症治療内服薬が広く行き渡り、インフルエンザ並みに指定感染症から外れる日は近いと願いながら、毎日メールチェックの地獄と闘っています。

コロナ発生以来、体制を強化してきましたが、爆発的な発生数の増大により、「発生2日以内に初回連絡」の目標は厳しい状況で、イヤホン付きの携帯電話とカルテの電子化に伴い必須となったパソコンを前に緊迫した表情の保健師達には、うかつに声はかけられない雰囲気です。

「ありがとう」の一言

コロナはみるが、業務効率を追求した結果、マニュアルに沿った省力化が応援保健師にも求められます。

顔も見えない相手に、電話で疫学調査とは名ばかり

の聞き取りをしたら、決まった療養先に振り分けられる。きれい過ぎて好きになれない。人として、家族のあり方も様々なのに、捨て置かれていく。ささくれる私の気持ちを救ってくれたのは、第5波の時にパルスオキシメーターを届けるため、夜の10時過ぎに訪問した際の、インターホン越しからの「ありがとう」の一言でした。

手探りし、考える毎日

そして、引退を決めた年に、統括保健師を拝命してしまいました。応援体制の変更、事業休止の度に、勤務シフト表を何度作り直したことでしょう。部署を超えて動くことは自由ですが、言動には責任と覚悟が伴います。状況が分からなければ、情報を取りに行きながら、管理職も含め公平に情報が行き渡るように努めました。少し先の状況を予測し、刻々と変わる国からの通知等を見ながら、応援に求められる事は何か、考える毎日があともう少し続きます。

看護師

COVID-19 未曾有の事態を振り返ってみて

東京北医療センター 感染対策室

前多 香



職員の不安の声

私が勤務する東京北医療センターは、北区赤羽にある急性期病院です。2020年4月にはCOVID-19専用病棟を立ち上げ、本格的に患者の受け入れを始めました。

「感染症指定病院でもないのに、どうしてこんなにコロナ患者を受けるのか」「自分が感染して、家族にう

つしてしまうのではないか」「保育園や学校で、子供が差別やいじめにあうのではないか」。今まで経験したことのない事態に、職員から不安の声が聞かれました。

そんな不安の中、職員が一致団結してCOVID-19に立ち向かうため、会議室の一角にCOVID-19対策本部を常設しました。診療継続計画に基づいて、病院管理者を対策本部長とし、毎日朝晩ミーティングを行いました。

助産師

新型コロナウイルス感染症との闘い

荻窪病院助産師

宗像 美奈弥



未知のウイルスとの対峙

令和2年2月、当時はまだ得体の知れなかったCOVID-19に対応すべく、私の勤務する病院でも様々な取り組みが始まりました。その時の私は、COVID-19の感染拡大が今日のような状況になるとはまったく想像していませんでした。

発熱外来で熱発患者さんの対応を行うようになり、同年2月にはコロナ病棟も開設され、私もコロナ病棟スタッフとして派遣されることになりました。産婦人科での勤務経験しかない私は、「病気のある成人を看護する」ということに不安しかなかったことを覚えています。

コロナ病棟開設当時は患者さんの人数が少なかったため、日勤も夜勤も看護スタッフ一人で対応していました。隔離された空間で誰にも相談できない状況、感染したらどうなるかわからない未知のウイルスへの不安と恐怖は今でも忘れられません。そんな中、コロナ病棟に派遣されていた他病棟の看護スタッフに助けをいただき、不安な思いを聞いてもらうこともありました。

た。看護師として勤務してくれている皆さんには尊敬の思いでいっぱいです。

自部署に戻っても大変な日々

コロナ病棟への派遣が終了し、自部署に戻ってきても課題は山積みでした。当時、成人でさえ説明されていなかったCOVID-19対応や治療を、妊婦さんや新生児に対してどのようにしたらよいのか。感染症例が少なかったために対応方法の前例が少なく、参考にできる事例もごくわずかでした。そのためコロナ病棟での対応方法を応用し、他の産科スタッフの力も借りて産科独自のマニュアルを作成しました。ガウン着脱の講習会を行ったり、COVID-19陽性の妊婦さんの分娩対応をシミュレーションしたりと、私が経験したことを自部署でも活かせるように尽力させていただきました。現在もスタッフ皆で力を合わせ、妊産婦さんと新生児の健康と安全を守るために日々頑張っています。一日でも早く日常を取り戻せることを願っています。

情報共有の工夫

めまぐるしく状況が変わっていく中で、情報共有や、ルール変更に関する職員への周知には、工夫が必要でした。

職員用スペースにホワイトボードを並べ、クロノロジー（起こった出来事を時系列に並べたもの）、専用病棟の患者数、外来の状況、人工呼吸器や個人防護具の保有状況など、一目でわかるように貼り出しました。COVID-19に関するマニュアルは、電子カルテ上に特設ページを設置し、すべてそこで閲覧できるようにしました。また週1回、職員向けの報告会を開催しました。職員は誰でも自由に参加可能で、対策本部から直接説明を聞き、質問や意見を言うことができました。

明るい兆し

2年続いたコロナ禍も、効果の高いワクチンができたことで、ようやく明るい兆しが見えてきました。病院敷地内に建設したプレハブには、予防接種を受けるため、毎日たくさんの区民の方々がお越しになっています。ここまで大きなクラスターを起こすことなく乗り越えられたのは、協力してくれたすべての職員のおかげです。心から感謝します。

メディアセンターだより

心が軽くなるおススメ図書

長引くコロナ禍で、人とのつながりが薄れ、心に不安を抱えていませんか？

本を読むことは魔法でも薬でもありません。

けれど、読書は悩みを客観的に捉え、物事を違う視点から考えるきっかけを与えてくれます。

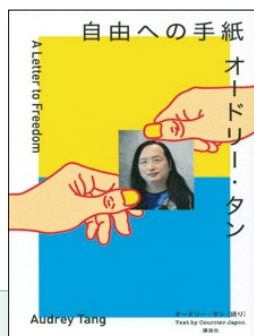
大切なあなた自身の、心を軽くするこんな本を読んでみませんか？

以下に紹介する図書は、すべて東京都看護協会メディアセンターにあり貸出可能です。

『オードリー・タン 自由への手紙』

オードリー・タン / 語り
クーリエ・ジャポン編集チーム / 編
講談社2020

史上最年少の若さで台湾デジタル大臣として入閣。格差やジェンダーそして仕事から自由になるとは!?



『ケアする人をケアする本 医療スタッフのための人間関係力』

岡山ミサ子 / 著 gene 2020

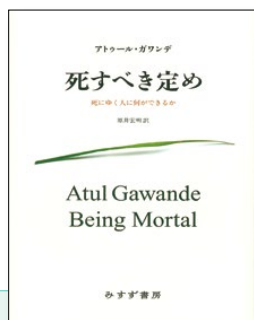
本書のタイトル通り、ケアする人をケアする本。コミュニケーションのヒントが満載です。



『死すべき定め - 死にゆく人に何ができるか』

アトゥール・ガワンデ / 著
原井宏明 / 訳 みすず書房2016

現役外科医で「ニューヨーク」誌ライターのガワンデ氏が、父親の死についてエピソードを交え、生きることの意味を問いかけます。



『大丈夫じゃないのに大丈夫なふりをした』

クルベウ / 著 藤田麗子 / 訳
ダイヤモンド社2021

韓国人気 SNS 作家による、優しい語り口と素敵なイラストが心を軽くしてくれます。つい頑張ってしまうあなたへ。



『人間滅亡の人生案内』

深沢七郎 / 著
河出書房新社2016

悩みを吹き飛ばすユーモアにあふれた回答に、悩んでいることがどうしてもよくなります! 悩んでいる人必読!



『いじめのある世界に生きる君たちへ - いじめられっ子だった精神科医の贈る言葉』

中井久夫 / 著 中央公論新社2016

精神科医が自身の体験をもとに、いじめから生き抜くきっかけを、やさしい言葉で教えてくれます。今、つらい状況にあるすべての人に。



東京都看護協会メディアセンター（図書室）

03-6300-5798（直通）tosho@tna.or.jp

月～金 9：00-17：00（ただし11：30-12：30は休室）



東京都 ナースプラザだより

2021年度のナースプラザ事業を振り返って

東京都ナースプラザは「看護師等の人材確保の促進に関する法律」に基づき、東京都の指定を受けたナースセンターとして、看護職の確保・定着に関する5つの事業、

①ナースバンク ②研修 ③プラチナナース支援 ④看護職員地域確保対策 ⑤看護に関する普及啓発を行っています。

<https://www.facebook.com/tokyo.nurseplaza/>

1 ナース バンク

【多くの支援登録に感謝】

まずは、COVID-19関連業務の人材確保にあたり、多くの方に支援者登録をしていただき感謝申し上げます。おかげさまで、これまでに5,000人を超える方にご登録をいただきました。この1年を振り返ってみると、緊急事態宣言の発出中は、感染対策のためナースバンク立川での来所相談やミニ就業相談コーナーの休止など、事業の縮小を余儀なくされました。

【ふれあいナースバンク就職相談会】

『ふれあいナースバンク就職相談会』も同様に、出展規模を縮小して開催してきましたが今秋からはオンラインでの出展方式を設けることにより、コロナ禍前の規模に戻すことができました。オンラインは、毎週開催しているミニ就業相談コーナーでも活用をはじめ、令和3年度中には、窓口での対面相談にも取り入れる予定です。感染対策に配慮しながらも、求職者・求人施設の皆さまにとって、これまで以上に魅力的なイベント・場所となるよう、より一層努力してまいります。

2 研修

Zoomによるオンライン研修実施！

令和3年度はオンライン研修を軌道に乗せることができました。研修ごとにオンラインとするか、感染対策の上、対面とするかを慎重に検討し開催しました。講師の協力を得て内容を大幅に見直す場面もありました。オンラインだからこそ研修に参加できるという方も増え、成果も感じられる1年でした。

近年、COVID-19の影響で、看護基礎教育における病院実習や、新人看護師のための研修が十分に行えず、職場適応や看護実践能力に課題がある、といった声も届いています。新年度に向け、これらに対応していくための研修も計画しています。これからも、再就業を目指す看護職や、中小規模施設で勤務する看護職の皆様の資質向上・定着促進に向け、お役に立てる研修の提供に努めてまいります。

3 プラチナ ナース

プラチナナース就業継続支援

50歳以上の看護職の就業継続を支援する「プラチナナース就業継続支援事業」は、令和3年度新規事業として、COVID-19の流行が拡大する中、係員のもてるスキルを総動員して「セミナー」「職場体験会」等を開催しました。「プラチナナース」という言葉は、看護職の中でもまだ2～3割しか知られていませんが、これからの少子高齢化社会で、「プラチナナース」はますます存在感を増すと思われます。応援をよろしくお願いします！



4 看護職員地域 確保対策

【復職支援研修】離職中の看護職の復職を応援しています！

令和3年度から、『病院体験コース』と『施設体験コース』を標準プログラムに沿って研修を実施しています。『病院体験コース』では講義に加えて、採血・注射等の看護技術演習・病棟実習の体験ができます。『施設体験コース』では、高齢者施設・診療所・訪問看護ステーションでの看護体験ができます。忙しい方には、1日のコースも準備されています。

【アウトリーチ型定着促進支援事業】

都内の200床未満の病院に対して、就業協力員が月1回病院訪問し、看護の質向上や勤務環境改善等の病院の取り組みに直接、助言・相談を行います。電話やメールでもサポートします。取り組みに必要な研修の企画や（外部講師招聘等）、オンライン実施、地域への発信等の支援も行います。

5 看護に関する 普及啓発事業

『一日看護体験学習』を開催！

令和3年度「一日看護体験学習」は、受入れ施設のご協力をいただき、コロナ対策をしっかりとって5月・夏休みの開催をする事ができました。

広報面では、Facebookの「いいね！」の獲得を目指し、前年度比1.5倍にフォロワーが増えました！

会員係からお知らせ

2022年度 入会 受付中です!

会員有効期間 2022年4月1日～2023年3月31日

2022年度自動継続のご案内(2021年度入会中の方)

①2022年度の年会費を納入→継続入会手続き完了

年会費納入未了の方は、お早めにお支払いをお願いいたします。

〈継続入会年会費〉15,000円

(内訳: 東京都看護協会年会費 5,000円・東京都看護協会会館維持管理費 5,000円・日本看護協会年会費 5,000円)

【年会費納入方法】

口座振替(口座情報登録済)	2022年1月以降順次お引落し。 ※引落日は毎月27日(土日祝日の場合翌営業日)
口座振替(口座情報未登録)	口座情報の登録申請が必要。会員情報変更届で口座情報を提出するか、会員専用ページ「キャリアナース」から口座を登録してください。口座登録後、お引落しとなります。
銀行振込	2022年度継続のご案内にてお届けした払込票で納入してください。 ※銀行振込の場合、ATMやインターネットバンキングからのお振込みも可能です。
コンビニ収納	
勤務先で取りまとめて納入	勤務先の看護協会担当者様にご確認のうえ、お手続きください。
クレジットカード決済	クレジットカード決済は入会初年度のみとなるため、2年目以降は「口座振替」に変更が必要となります。会員情報変更届で口座情報を提出するか、会員専用ページ「キャリアナース」から口座を登録してください。口座登録後、お引落しとなります。

②会員情報や口座情報に変更不備なし → お手続は不要

③会員情報や口座情報に変更不備あり → 会員専用ページ「キャリアナース」、もしくは 会員情報変更届により必ず変更手続きを行ってください。



会員専用ページ「キャリアナース」にご登録ください

- 会員情報の変更手続きがお手元のパソコン・スマホから!
- 資料の検索や閲覧で最新の情報をフル活用!
- 受講履歴で会員さまのスキルアップをサポート!

2022年度新規入会・再入会のご案内

<入会方法> WEB入会 または 書面での入会

<年会費> 新規入会: 20,000円 / 再入会: 15,000円

内訳: 東京都看護協会入会金 5,000円(新規入会のみ)

東京都看護協会年会費 5,000円 東京都看護協会会館維持管理費 5,000円 日本看護協会年会費 5,000円

※入会履歴が不明の場合は、メールまたはお電話にて会員係までお問い合わせください。

詳細はホームページ
をご覧ください



新型コロナウイルス感染症見舞金給付について

公益社団法人東京都看護協会の会員の方が、新型コロナウイルス感染症に罹患したことが原因で所属する施設において就業することができなかった場合、1件につき金10,000円を給付いたします。所属施設長の承認を得てご本人より申請してください。

詳細はこちら

【東京都看護協会ウェブサイト】 → 【各種ダウンロード】 → 【新型コロナウイルス感染症見舞金支給申請書】

公益社団法人東京都看護協会 総務部経営企画課会員係

TEL: 03-6300-5452(会員係直通) Mail: nyukai@tna.or.jp

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～17:00(土日祝除く)

表紙の紹介

作品名：「Peaceful world」

作 者：カメラマン

上田健次 (Kenji Ueta)

1967年2月茨城県水戸市生まれ。

秋山写真工房や写真現像所で写真技術を学ぶ。

全国二科展入選、茨城二科展奨励賞、フジフォトコンテスト部門入賞。

丸の内法人会フォトコンテスト金賞など受賞歴多数。東京都を中心に全国にて活動。

<https://www.uetakenji.net>



この花の名前はアリウム（別名ハナネギ）。花茎をまっすぐに伸ばすことから「不屈の心」の花言葉を持ちます。新型コロナウイルス感染症に対応される医療従事者の皆様への感謝の気持ちと、人類が手を取り合って平和な世界となるよう願いを込めて「Peaceful world」と名付けました。

この作品をご覧になられた方の心が少しでも癒されますよう、そして一日も早い事態の収束を心よりお祈り申し上げます。

公益社団法人 東京都看護協会 役員等の選挙について

◆令和4（2022）年6月23日（木）に開催される「令和4（2022）年度通常総会」の終結をもって任期満了となる役員及び推薦委員について、下記により選挙を実施いたしますのでお知らせいたします。

○選挙期日 令和4（2022）年6月23日（木）

○場所 公益社団法人東京都看護協会会館 1階大研修室1A・1B

○立候補受付について

当協会の役員及び推薦委員に立候補しようとする方は、会員5名以上の推薦を受けて、所定の様式（立候補届出書・立候補者推薦届）に必要事項を記入の上、令和4（2022）年4月4日（月）から4月8日（金）までに、公益社団法人 東京都看護協会 選挙管理委員会 事務局まで届け出てください。

所定の様式が必要な場合は、下記までご連絡くださいますようお願いいたします。

公益社団法人 東京都看護協会 選挙管理委員会 事務局

〒160-0023

東京都新宿区西新宿四丁目2番19号 TEL：03-6300-0730

○改選役職名及び改選数

役職名	改選数
会長	1
副会長（助）	1
常務理事	1
財政担当理事	1
職能理事（保）	1
准看護師理事	1
地区理事（東部）	1
地区理事（中部）	1
地区理事（多摩南）	1
監事（会員）	1

事務局からのお知らせ

令和3年度 秋の叙勲 (敬称略)

受章おめでとうございます

瑞宝小綬章	ひさつね せつこ 久常 節子	元厚生省健康政策局看護課長
瑞宝双光章	さとう ひろこ 佐藤 浩子	元東京都立墨東病院看護部長
	むねむら みえこ 宗村 美江子	元国家公務員共済組合連合会虎の門病院副院長兼看護部長
	つづみざき ようこ 堤崎 洋子	元自衛隊中央病院1等陸佐
瑞宝単光章	でぐち しょうこ 出口 昌子	元独立行政法人地域医療機能推進機構湯河原病院看護部長

《令和3年度 寄附金寄贈者・賛助会員 御芳名》 (敬称略 順不同)

当協会の公益事業活動および新型コロナウイルス感染症対策緊急支援へのご支援に、心より御礼申し上げます。
ご寄附いただきました方々への感謝の意を込めまして、ここにご芳名を掲載いたします。

一般寄附金寄贈者 御芳名

渚 りえ 渡部 圭介 榎田 貴弘 新井 義弘 木村 路成 助川 準之介
有限会社 サラサドットコム A hundred photo exhibition 株式会社ジンテック
コートキーパー 潔ー ISAGIー 大山税 Argyle Street Management Limited
白瀧酒造株式会社 食楽庵 鼎 株式会社貝掛温泉 松泉閣花月 有限会社しんばし
合資会社高橋屋商店 合資会社山新商店 株式会社長田屋 グローバルメタル株式会社
堀田 芳生 池田 泰雄 飯田 佐恵 Tシャツショップ・ナカノ 学校法人 東洋学園
中ノ郷信用組合 エルゼビア・ジャパン株式会社 TOKYO麻布ミュージックセンター
一般社団法人 東京連合読売会 全タイヨー労働組合 協和精工株式会社
オンワード商事株式会社 東洋羽毛首都圏販売株式会社

使途特定寄附金寄贈者 御芳名

一般社団法人 アミチエ ソン フロンティアール インターナショナル ジャポン
ノースイースト・キャピタルマネジメント株式会社

招待券寄贈者 御芳名

公益財団法人東京都歴史文化財団

賛助会員 御芳名

アイホン株式会社 一般社団法人医療の質・安全学会 株式会社インターメディカ
京セラ株式会社クレサンペール銀座店 サクラグローバルホールディング株式会社 佐藤 岩雄
株式会社ジェイ・エム・エス 大成祭典株式会社 東京インターナショナルリスクサービス株式会社
東洋羽毛首都圏販売株式会社 公益社団法人東京都助産師会 株式会社トータル保険サービス
株式会社トップ 東京営業所 株式会社日本ケアコミュニケーションズ
一般社団法人日本動物看護職協会 一般社団法人日本能率協会 睦技研株式会社
一般社団法人日本臨床看護マネジメント学会 株式会社ヤクルト本社 首都圏支店 株式会社山菊
和洋女子大学 一般社団法人東京都日本病院会支部 ネオファースト生命保険株式会社
シーホネンス株式会社 株式会社キューネットワークス ニプロ株式会社

<令和3(2021)年12月22日現在>

《当ページへのお問合せ先》

公益社団法人東京都看護協会 総務部 TEL: 03-6300-0730